

第57回建材情報交流会
2019年7月26日

「オムツっ子 たっち BR-TC」(据置型おきがえ台)

(株)水上 特販部特需課
課長代理 楠井 浩司

① 概要

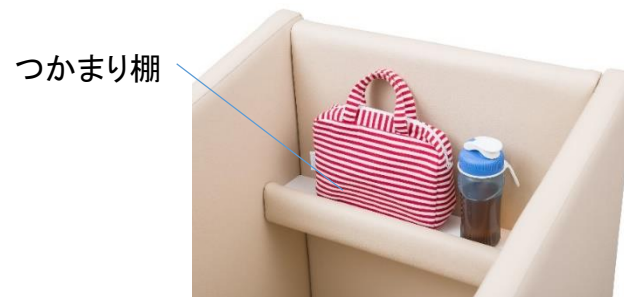
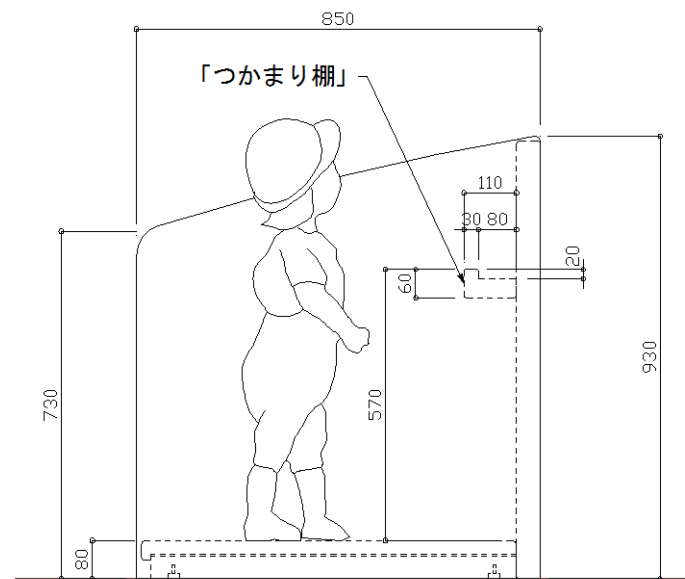
公共施設や店舗の授乳室などに設置し、つかまり立ち～36ヶ月程度の乳幼児を対象に立たせた状態でオムツの交換や着替えなどを行う際に使用する**据置型立ち着替え台**です。

【材質】

- ◆木合板・メラミン化粧板
- ◆ウレタンフォーム(ウレタンクッションを木合板・化粧板に巻く)
- ◆張地:ビニールレザー(東京シンコーレザー様のマルチプル)

【寸法・重量】

- ◆巾620mm × 奥行850mm × 高さ930mm
- ◆重さ 約28kg
- ◆設置方法 組立の必要がなく、梱包から取り出して据置だけです。



② 製品開発の着眼点

(1) 公共の授乳室で、乳幼児が立ち着替えする専用台がまだまだ普及しておらず、衛生上、床面へ直接立たせて着替えをさせる事を避ける為、おむつ交換台やチェアの上に乳幼児を立たせて着替えをさせることがあり、落下事故の要因になりかねません。

また、パンツ式のオムツの普及により立ったままオムツ交換をする事が理にかなっている事も考えられます。

図4は、2014年度日本建築学会関東支部優秀研究報告書「商業施設におけるベビー休憩室の利用実態調査報告」に記載された、おむつ替え台の種類別に体勢を集計した結果であります。

一般のおむつ変え台で「立たせて」利用する例も、
2割近くみられる。

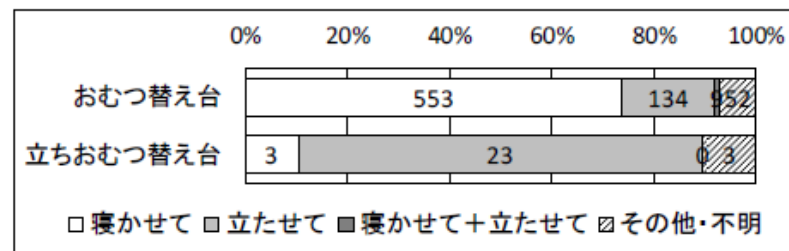


図4 おむつ替え台の種類とおむつ替えの体勢

(2) 保護者が乳幼児を着替えさせる際、周囲の視線を気にする。

(3) 公共のトイレや授乳室などに設置される製品は、汚れやすい。

※ 乳幼児があがるもしくは保護者が膝をつく製品は、衛生的に保つ必要があります。

(4) 市場で流通している着替え台は、木製や樹脂製のものが多く、乳幼児が角にぶつかったりすると怪我する恐れがあるので、安全性の高くないことに着目しました。

③ 製品の特長

(1) 据置型おむつ交換台の横に設置した時に、

全体としての統一感や一体感のある形状となるように

側面上部の形状、奥行き幅などをおむつ交換台に合わせています。

(2) 三方の壁面を高くし、奥行をつくる事により周囲から見えにくく

子供が**試着室にいるような感覚**にしています。さらに正面奥に

乳幼児がつかまり易く、小物や荷物が置ける**つかまり棚を設置**

(3) 製品全体とつかまり棚をウレタンクッションで包み、内外で

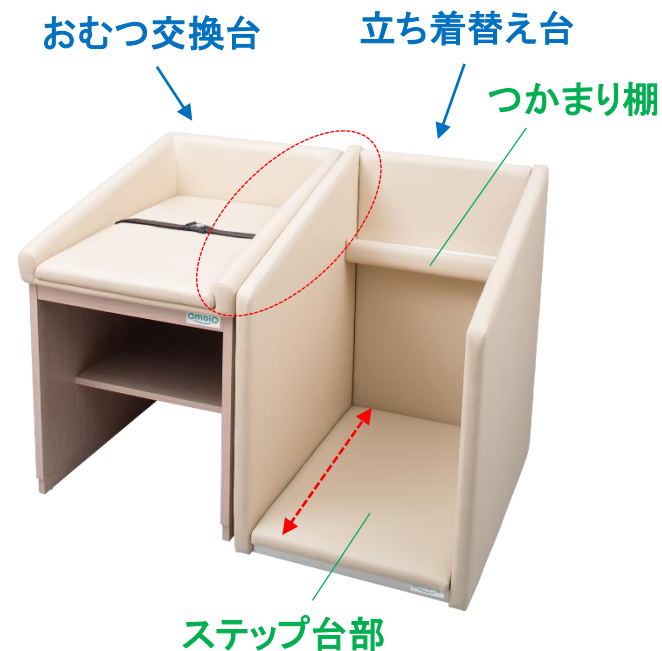
乳幼児が万が一の衝突時に**衝撃を和らげる安全性**

(4) 全体を抗菌・防カビ・防汚性に優れた、高機能ビニールレザー

「マルチプル」で張り**衛生的**です。清掃性にも優れており、日常的な清掃で使用される中性洗剤に加え、アルコールや次亜塩素酸ナトリウムも使用が可能です。

(5) ステップ台部は、奥行があり、保護者が膝をついて乳幼児のお着替えができるようになっています。

そして劣化しやすいステップ台部は、取り外して清掃や交換が可能で、**メンテナンスも容易**にできます。



④ 見込まれる成果

◆オムツ交換台とセットで、授乳室に設置しやすいデザインですので、据置型立ち着替台の普及を促進し、オムツ交換台やチェアの上に乳幼児を立たせて、着替えをさせる危険性を減少させる。

◆立ち着替え台とオムツ交換台の併設により、立たせてと寝かせてのオムツ交換する乳幼児の動線を分けることで**授乳室の混雑緩和**にも役立つのではないかと考えております。

⇒保護者がつかまり立ち～36ヶ月の乳幼児を外出先で安心・安全に着替えを行う事ができる。

⇒サービスで授乳スペースを提供する施設側も安全性とメンテナンスの容易さで安心して設置ができる。

